

木村広一の 地域での実績・取り組みのご紹介

(公明党議員団含む)

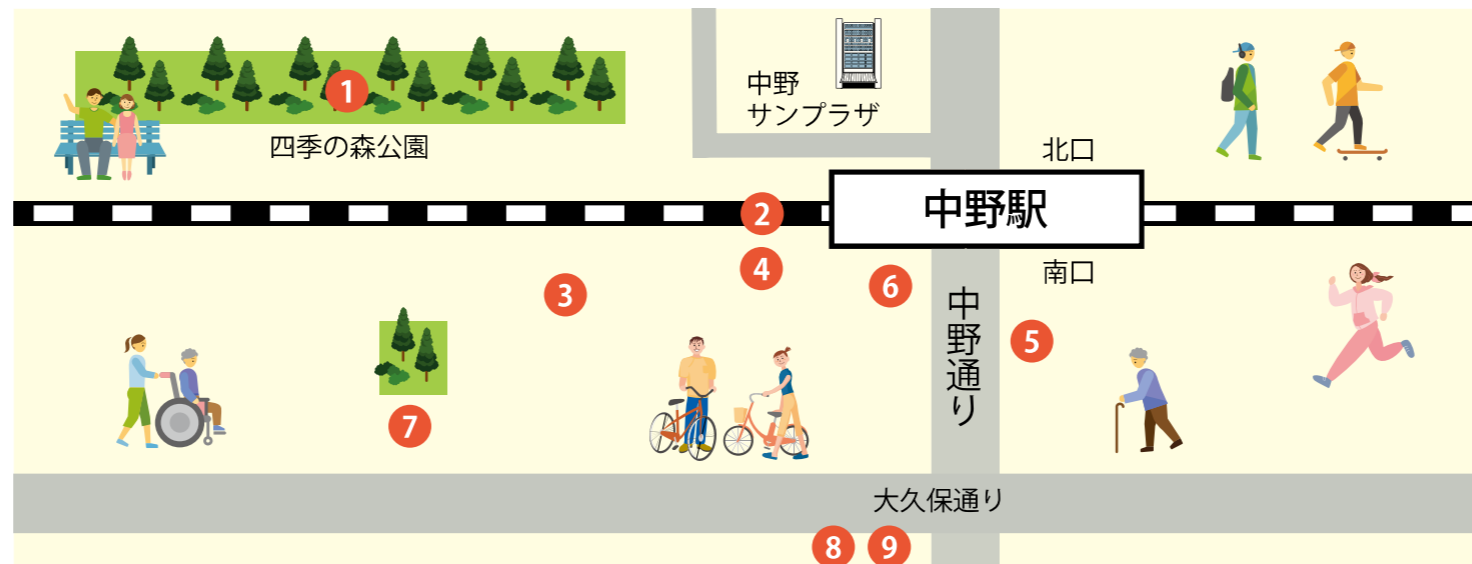


1 四季の森公園の整備、活用

防災機能を備えた「中野四季の森公園」は、区民の憩いのスペースとして週末はイベントや家族連れなどでにぎわう。今後は民間活力の導入で、さらに公園の魅力やにぎわいを高めます。

■中野4-13

映像で紹介



8 通学路などの生活道路の安全対策を推進

通学路の合同点検結果を踏まえ、児童の安全を確保するため路側帯白線の設置やカラー舗装化など、安全対策工事を実施。生活道路の安全も確保されます。

■中野第一小学校、中野本郷小学校

映像で紹介



9 防犯カメラの設置で地域の防犯力を向上

小学校1校に5台の防犯カメラ、主要交差点にも防犯カメラを設置し、犯罪抑止力が向上すると共に、交通事故の早期解決にも大きな効果。

■桃花小学校

映像で紹介



2 中野駅西口改札前倒しで開設

南北通路・中野駅西口改札の開設は、2028年を予定されていたが、早期開設が望まれていた。公明党は2017年に国土交通大臣を中野区に招き強く要望。前倒しで2026年開設されることに。

■中野3-36

映像で紹介



4 中野駅桃園広場(西口広場)の整備推進

2025年度中の完成予定。文化的でにぎわいのある周辺のまちなみと調和し、活気と温かみのある広場がコンセプト。地域のイベント利用も可能な、ゆったりとくつろげる空間を目指します。

■中野3-36

映像で紹介



6 中野通り終日右折禁止解除

映像で紹介



中野三丁目から中野通りへの終日右折禁止が、2020年4月から解除され、限定された時間帯のみ右折禁止に。交通調査を実施し、正確な交通事情の把握と対策の検討を求め、規制緩和となりました。

■中野3-36



3 中野三丁目の文化と憩いの拠点整備推進

2028年度中完成予定。上層階は住宅、低層階は中野駅周辺で回遊性したくなる珍しい業種、店舗など時間消費・滞在型の商業機能を。地域の防災機能を強化し、地域や多世代交流イベント開催に活用。

■中野3-40

映像で紹介



5 中野駅南口点字ブロック設置

映像で紹介



中野駅南口改札から中野区視覚障害者福祉協会までの約200メートル、切れ目のない点字ブロックが2020年に完成。視覚障害の方が安心して歩行できるよう同協会の要望を受け、高倉良生都議会議員と連携し実現。

■中野2-29、30



7 団桃園公園の整備

映像で紹介



団桃園公園から陶器、ガラクタ、ブロックなどが表面に。子どもたちが利用するのに危ない状況のため、区に調査を依頼。数十年前、公園になる前の民家を埋めたものが出てきたようで、すぐに撤去、埋め立ての整備を実施。

■中野3-21

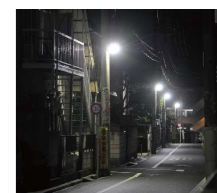


区内全街路灯のLED化、商店街街路灯のLED化補助

映像で紹介



全国でいち早く区内全街路灯をLED化。電気料が年間約1億円削減。従来の水銀灯より明るく防犯力も向上。商店街街路灯のLED化も推進。



その他の実績

- 幼児教育の無償化、不登校児童・生徒への教育相談・フリーステップ、学校・区施設でのAI翻訳機の導入
- フレイル予防推進、シニア世代のスマホ教室の推進
- 税・保険料をスマホ決済・ポイント還元
- 中野区での不妊治療公費助成・産科医による専門相談
- 区有施設再生エネルギー100%、食品ロス削減推進
- シェアサイクル事業導入